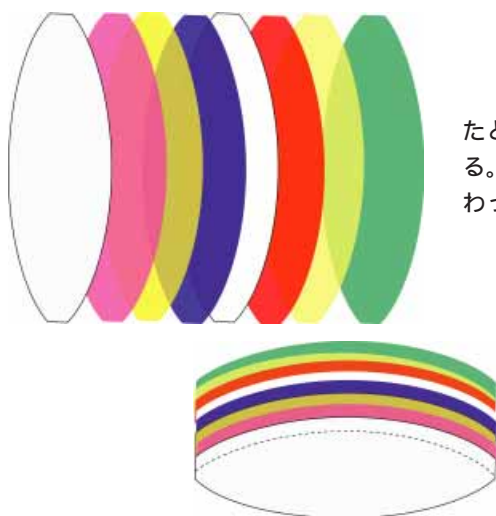


# 手作り紙風船 の作り方

紙風船の紙はグラシン紙という紙です。非常に薄く、しかし機密性がよく、空気が抜けにくく、風船を手で突いたとき音を出すなど、紙風船に適した素材です。この紙の利用はそんなに古くはなく、50年ほど前からです。それ以前には、薄いけれども質のあまりよくない紙の1枚1枚に大きな刷毛で色を塗っていましたが、グラシン紙の使用は画期的なものでした。



紙風船の材料はグラシン紙という紙です。リンゴやスイカを8つに切ったときに出来る皮の形と同じような形で色違いのグラシン紙を8枚用意する。(紙の幅は糊しろ部分をいれるため、少し広めにする。また風船を貼り終わったあとに金属の型を抜くために、紙の上下も少し断ち切っておく)

少しづつ、ずらして8枚重ね糊しろの部分に糊をつける。

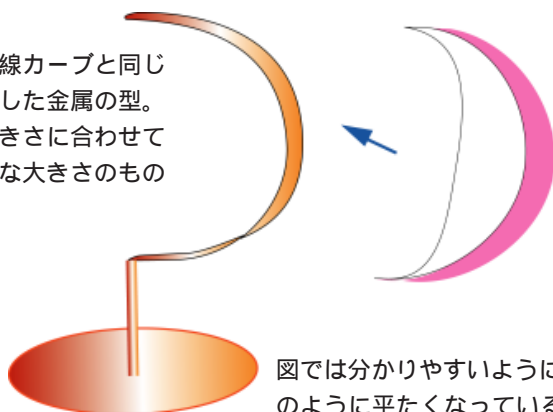
金属の型の曲面を土台として紙を貼り合わせる

金属の型の曲面にそって、糊しろ部分を上にして紙をおき、もう1枚重ねあわせる。

次に2枚目の紙の端を金属型の曲面にずらし、3枚目を貼る。同じようにして8枚目まで貼る。

8枚貼り終わるとボールのような形になるが、この紙風船の上と下の部分には未だ穴があいているので、下側から金属型を抜く。

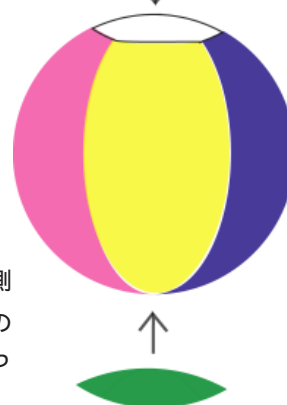
風船の曲線カーブと同じカーブをした金属の型。風船の大きさに合わせていろいろな大きさのものがある。



図では分かりやすいように局面が帯のように平たくなっているが、実際には針金のように細い。

口貼り紙

空気取り入れ口の穴があいている



貼り付ける

丸型の底貼り紙

小学校から紙風船の作り方の問い合わせがありましたので、調べてみました。

3~5分乾かしたあと、紙風船の下側を内側に押し付け、底の部分には丸型の底貼り紙、上の部分には口貼り紙を貼ってできあがり。

## 紙風船の作り方

紙の貼り方は3種類あります。

1: ずっと昔の方法は、平らなところで風船の型紙を貼り合わせていく方法ですが、平らな紙を立体的にしなければならないので、なかなか難しく、あまりたくさんできませんでした。

2: 次に考えられた方法は、細い鉄を風船の形に合わせて、数字の2の字のような形にして、その細い曲線のところで、糊づけをしていくやり方です。金属の型は風船の大きさにあわせていろいろ用意します。このやり方はとても熟練を必要としますが、慣れてしまえば、1の方法よりずっと仕事ははかどり、たくさん出来ます。しかし上手に貼り合わせるようになるには、長い経験が必要で、今ではそういう名人はだんだん少なくなっています。(上の解説図はこの手作り風船の作り方を説明したものです)

3: 現在は、風船を作る専用の機械があるので、安く多く紙風船が作れるようになりました。